

内科 3

(糖尿病・内分泌内科学・脳神経内科学合同)

[M5-70044P1]

1 臨床実習の概要

内科 3 の実習では代謝・内分泌領域および神経領域の疾患を持つ患者の診療に積極的に参加し、患者の背景も踏まえた病態の把握と診断ならびに治療方針の決定に至るまでの過程について学ぶ。さらに本実習では、患者を尊重した患者中心の医療について学習するとともに、メディカルスタッフとの連携・コミュニケーションを通じて、チーム医療の実践についても学ぶ。臨床実習に加えて、関連のユニット講義の到達目標も合わせて達成するように進める。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ①豊かな人間性と倫理観
- ②生涯学習
- ③医学知識と技術（診療の実践）
- ④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥科学的態度・探究心

3 臨床実習の学修成果（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 代謝・内分泌領域の疾患および神経・筋疾患の患者を通して…
 - ・ 医療面接、身体診察など基本的な情報収集ができる (③)
 - ・ 収集した情報から臨床推論を行い、主要な鑑別診断を挙げることができる (③)
 - ・ 臨床的諸問題に対して初期計画（診断、治療、教育）を立案できる (③)
 - ・ 主要な症候・疾患における病態生理、組織学的・臨床的特徴、必要な検査、診断基準を説明できる (③)
 - ・ 主要な症候・疾患における治療、合併症、予後の要点を説明できる (③)
 - ・ 基本的な検査を実施し、結果を解釈できる (③)
- 代謝・内分泌領域の疾患および神経・筋疾患の症例を自ら学び、まとめ、症例提示をすることができる (③⑥)
- 担当患者ならびに関わる多職種と良好な人間関係をつくることことができる (①④)

- 代謝・内分泌疾患および神経・筋疾患の医療に関わる…
 - ・ 多職種・チーム医療に学生として参加できる (④)
 - ・ 社会制度 (厚生医療など) を説明できる (④⑤)
- 代謝・内分泌領域の疾患および神経・筋疾患を通して疾患を探究する方法論 (文献検索と理解など) を実践できる (②③⑥)

※主要な疾患、症候、検査、治療

症候

肥満、やせ、高血糖、多尿、脱水、電解質異常、アシドーシス、しびれ、蛋白尿、腎不全、高血圧、低血圧、頻脈、徐脈、多汗、眼球突出、低身長、巨舌、無月経、性欲低下

頭痛、めまい、脳神経障害、けいれん、脱力 (筋力低下)、錐体路徴候、筋萎縮、しびれ、疼痛、感覚鈍麻、失語、失認、失行、意識障害、認知障害、歩行障害、パーキンソニズム、運動失調、不随意運動など

疾患・治療

肥満症、メタボリックシンドローム、2型糖尿病、1型糖尿病、膵性糖尿病、ステロイド糖尿病、糖尿病ケトアシドーシス、脂質異常症、高尿酸血症、痛風、全身性アミロイドーシス、ビタミン欠乏症、中枢性性早熟症、低ゴナドトロピン性性腺機能低下症、先端巨大症、クッシング病、下垂体前葉機能低下症、中枢性尿崩症、ADH 不適合分泌症候群、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症、骨粗鬆症、クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、アジソン病、原発性性腺機能低下症、多発性内分泌腫瘍症

脳血管障害、てんかん、筋疾患、末梢神経疾患、神経変性疾患 (筋萎縮性側索硬化症、Parkinson 病、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺)、認知症 (Alzheimer 病、正常圧水頭症、Lewy 小体型認知症)、脱髄性疾患 (Guillain-Barré 症候群、慢性炎症性多発根神経炎、多発性硬化症、視神経脊髄炎)、筋疾患、重症筋無力症、感染性神経疾患 (脳炎、髄膜炎)、内科疾患の神経合併症 (肝性脳症、糖尿病性ニューロパチー、Wernicke 脳症など)

脳梗塞の治療、てんかんの治療、免疫修飾薬・副腎皮質ホルモンによる神経免疫疾患の治療、Parkinson 病の治療、認知症の治療、自律神経障害の治療

検査・医用機器など

各種ホルモン負荷試験、75g 経口ブドウ糖負荷試験、絶食試験、副腎静脈サンプリング、持続血糖モニター、眼底鏡、超音波検査、CT/MRI 検査 (脳・脊髄)、核医学検査 (脳血流 SPECT、DAT-SPECT、MIBG 心筋シンチグラフィ、アミロイド PET)

神経学的診察およびその道具 (ハンマー・音叉・ペンライト・眼底鏡など)、腰椎穿刺、筋電図、神経伝導検査、頸部超音波検査、ヘッドアップティルト検査

4 方 略

病棟、ならびに外来臨床実習、ケーススタディ、場合によっては学外実習もあり得る

5 事前事後学修について

臨床実習開始前に糖尿病・内分泌領域の臨床実習予習ノートを終らせておくこと
【自己学習（事前事後学修）に必要な時間】

実習1日あたり 予習：50分 復習：30分

（糖尿病・内分泌内科）

臨床実習開始前に脳神経内科領域の診察手技について教科書およびDVDを繰り返し学習し、臨床実習予習ノートの課題1と2を完成させる。担当患者の神経疾患および関連疾患について学習する。【自己学習（事前事後学修）に必要な時間】

実習1日あたり 予習：30分 復習：60分

（脳神経内科）

6 課題（実習中の課題やレポート等）に関するフィードバック

担当患者の提示や口頭試問については、実習中の朝のカルテ診や教授回診等で適宜フィードバックを行う。

（糖尿病・内分泌内科）

課題レポートは教授が添削・コメントし、さらに病棟回診・病棟カンファレンスにて、学生とディスカッションすることでフィードバックをかけ、理解を深める。最終評価となる口頭試問では学生は課題として症例提示を行い、教授が質疑・評価しフィードバックする。

（脳神経内科）

7 評 価

評価項目	評価割合
臨床実習出席（出席表）	50 %
実習レポート（担当症例のレポート）	10 %
担当患者症例提示	10 %
口頭試問	20 %
その他	10 %
上記の評価項目を別途定めた臨床実習の評価基準に沿って判定する。	

8 実習スケジュール

別項参照

9 教育担当者

実習責任者：熊代 尚記（糖尿病・内分泌内科学）

朝比奈 正人（脳神経内科学）

担当教員：熊代 尚記、竹田 安孝、生駒 麻貴

朝比奈 正人、濱口 毅、中西 恵美、藤田 充世、堀 有行、森 健太郎

10 参考図書・文献

購入すべき図書

1. 内科学 第12版 朝倉書店

参考図書

1. ハリソン内科学 第5版 MEDSi
2. 病気がみえる Vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第5版 メディックメディア
3. イヤーノート 内科・外科編 メディックメディア
4. ベッドサイドの神経の診かた（改訂18版）南山堂（田崎義昭・斎藤佳雄著 坂井文彦改訂）
5. 医学生・研修医のための脳神経内科（改訂4版）中外医学社（神田隆 著）
6. 臨床神経内科学（改訂6版）南山堂（平山恵造 監修）

内科 3 全体の流れ

1. 学生 2-3 名 1 組に対して教員 2 名（糖尿病・内分泌内科、脳神経内科各 1 名）が指導を行います。
2. 実習期間の担当症例は、学生 1 組に対して 2~4 例（糖尿病・内分泌内科、脳神経内科各 1~2 例）とし、主となる症例、副となる症例を決め、主となる症例と副となる症例は 2 週毎に交替します。
3. 実習期間中は、主となる症例を中心に症例の把握、診察、カルテ記載を行って下さい。
4. 各科（糖尿病・内分泌内科、脳神経内科）のカンファレンス・回診などでは、副となる症例についても病状を把握するようにして下さい。
5. 糖尿病・内分泌内科と脳神経内科の合同のカンファレンスが期間中 1 回あります（糖尿病・内分泌内科が担当の場合は月曜日 14 時 30 分～、脳神経内科担当の場合は火曜日 8 時 45 分～）。その時に主となる症例を担当学生にプレゼンテーションして頂くことがあります。
6. 糖尿病・内分泌内科、脳神経内科で行われるレクチャーは、主担当症例の所属する科のものへの参加は必須とします。
7. 副担当症例の所属する科で行われるレクチャーなどへの参加は、時間や会場スペースに余裕があれば可能とします。

2026年 第5学年 臨床実習スケジュール表

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	14:30	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
第2週													
月			外来実習 糖尿病・内分泌外来 〔熊代・竹田〕(3名)					カンファレンス 回診 5F東 カンファレンス ルーム 〔熊代・竹田〕			医局会		
火			脳神経内科の回診に参加 ※8:45に6F東研修室							ミニ カンファ レンス 医局 〔熊代・竹田〕			
水			外来実習 糖尿病・内分泌外来 〔熊代〕(1名)							ミニ カンファ レンス 医局 〔熊代〕			
木			外来実習 糖尿病・内分泌外来 〔熊代・竹田〕(2～3名)				総括 医局 〔熊代〕				ミニ カンファ レンス 医局 〔熊代・竹田〕		
金			臨床推論										
土													

- ・第1週目の月曜日が祭日の場合、オリエンテーションは火曜日朝行きます。(8:30糖尿病・内分泌内科学医局)
- ・予定は変更されることがあり、その場合は各担当医から連絡があります。
- ・秘書室前に掲示する連絡事項を毎日確認し、出欠のサインを記入ください。
- ・指導医が不在の日を確認し、代行指導医を確認してください。
- ・糖尿病・内分泌内科、脳神経内科合同カンファレンスが期間中に1回開催されます(月曜日14時30分～または火曜日9時30分～)。
- ・合同カンファレンス後に糖尿病・内分泌内科、脳神経内科合同レクチャーがあります。
- ・スケジュール上の空き時間においても、担当症例に関するディスカッションを適宜指導医と行ってください。
- ・救急患者の診療にも積極的に参加してください。
- ・実習の欠席時について: 当日8:45までに連絡フォームへの入力と秘書室へのメールまたは電話連絡をすること。

脳 神 経 内 科 学

スケジュール表

		8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	18:00	
第 I 週	月			オリエンテーション・神経診察の仕方 [中西] (医局)								神経解剖学 [濱口] (医局)									
	火			8:45 病棟カンファレンス・病棟回診・患者紹介 [朝比奈] (*6F東)																	
	水																				
	木			外来実習 [朝比奈] (☆1F・A2)											神経電気生理学[藤田] (医局)						
	金			臨床推論										中間評価 [朝比奈] (医局)							
第 II 週	月							脳波・睡眠医学[立花] (Zoom)						糖尿病・内分泌内科学カンファレンス (9F西研修室)							
	火			8:45 病棟カンファレンス・病棟回診 [朝比奈] (*6F東)																	
	水																				
	木			外来実習 [朝比奈] (☆1F・A2)											神経分子生物学 [森] (医局)						
	金			臨床推論											口頭・実技諮問 [朝比奈] (医局)						

実習第1日目の集合場所・時間:臨床研究棟7階 脳神経内科学 医局セミナー室 午前9時00分
 実習第1日目が休日の場合:臨床研究棟7階 脳神経内科学秘書室 火曜日8:35 予習ノート提出
 ナースセンター前実習室 8:45

糖尿病・内分泌内科と脳神経内科の合同カンファレンスが4週に1回あり、糖尿病・内分泌内科（月曜日14:30）と脳神経内科（火曜日8:45）が交代で担当する。
 合同カンファレンス後に糖尿病・内分泌内科と脳神経内科の合同レクチャーがある。
 内科系合同カンファレンスへの出席は必須である。

*6 F 東 : 病院1号棟6 F 東 ナースセンター前実習室
 ☆1 F A 2 : 病院1号棟1 F 脳神経内科A2診察室